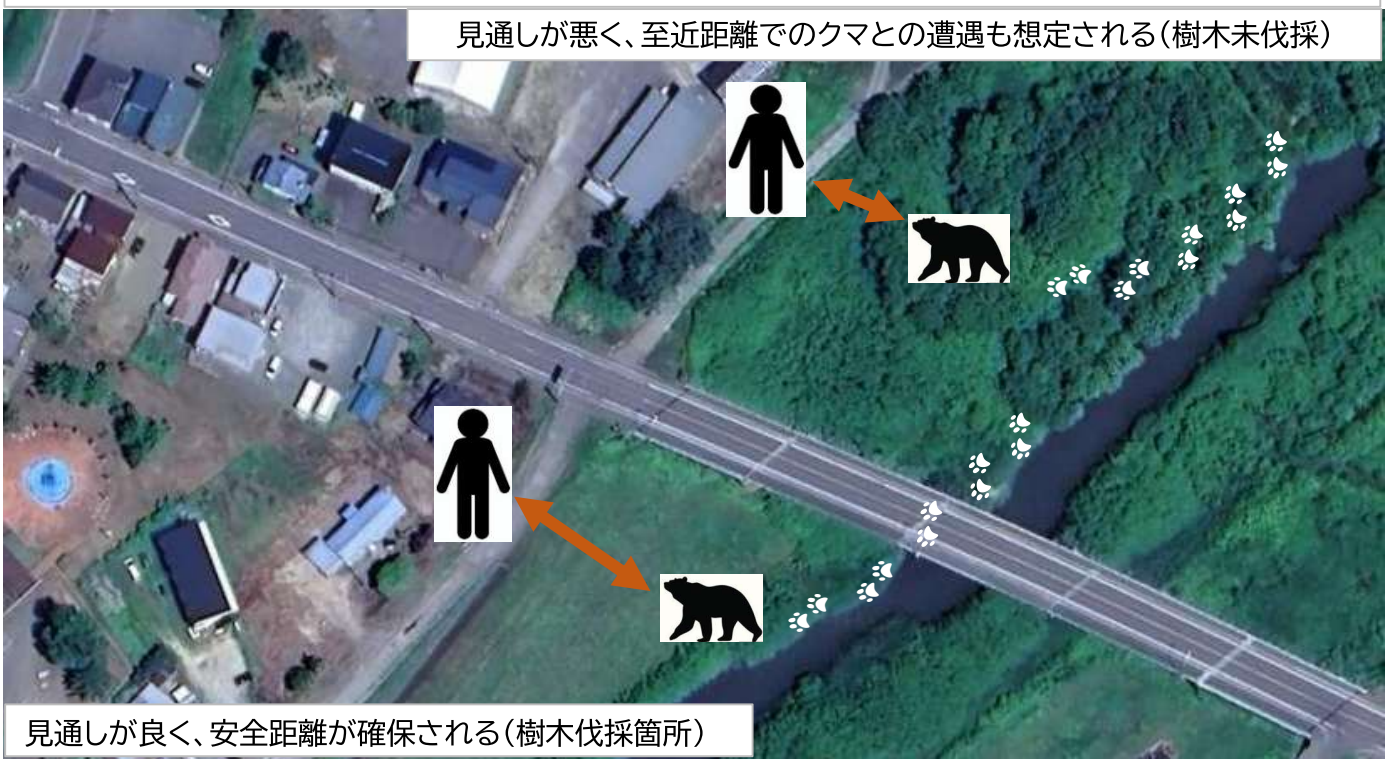
参考資料

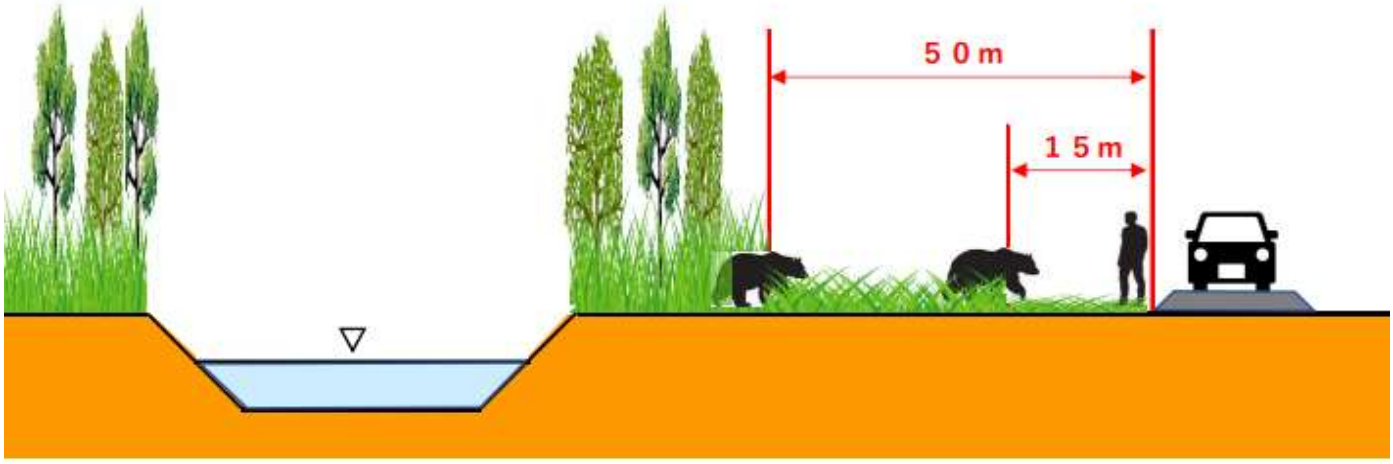
① 河川の樹木伐採に関する必要範囲など

■各市町村の意見を踏まえ協議会にて検討願いたい。

・クマの侵入抑制や見通しをよくして突発的な遭遇を減らす観点から、河川の樹木伐採や下草の刈り払いが必要と考えられる範囲は、住宅地や河川に隣接する道路等から最低でも何m程度離れた場所まで必要と考えられるか



意見交換会でのアドバイスを反映した樹木等伐採範囲のイメージ

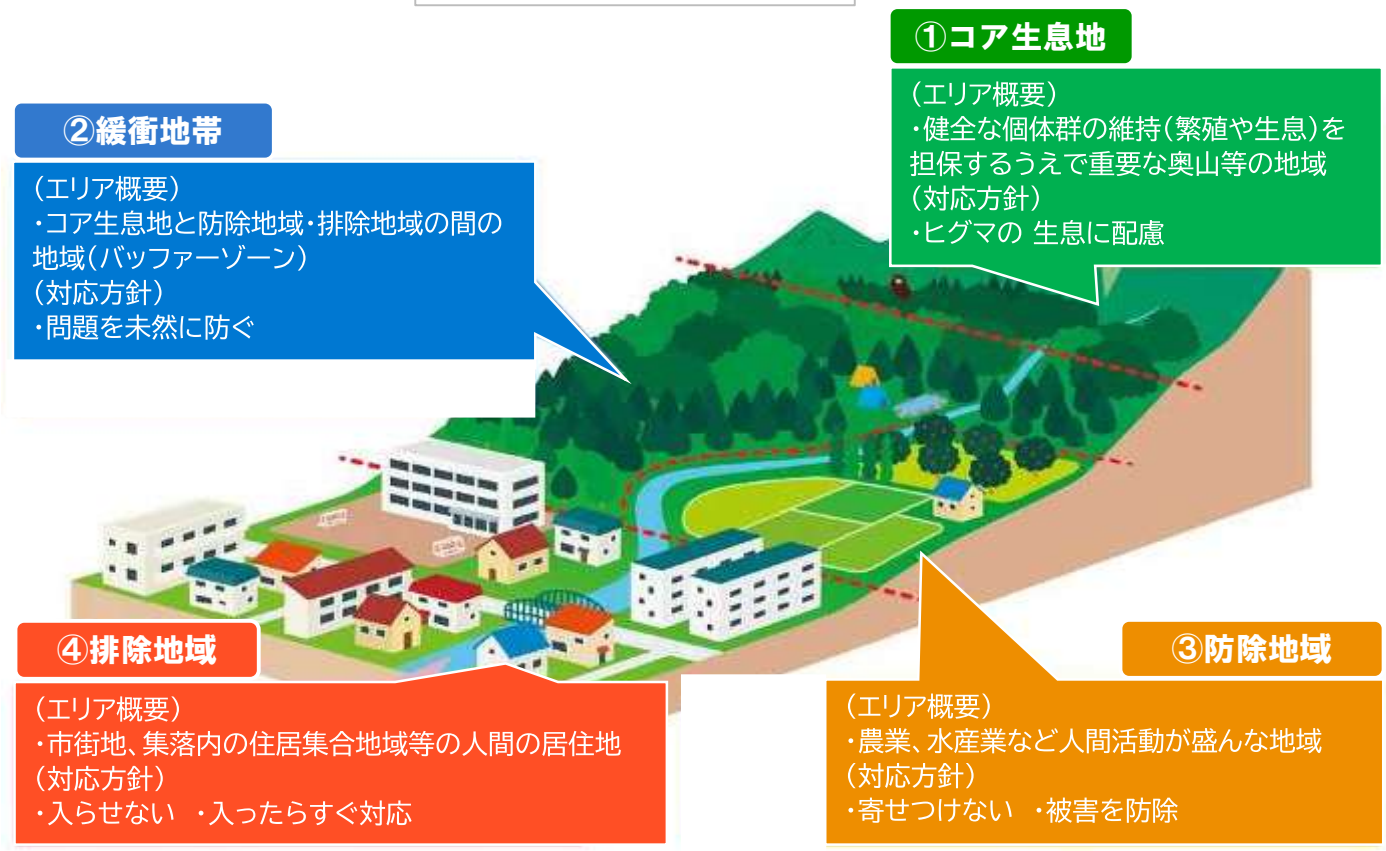


R7.12.23開催の
「河川におけるクマ出没防止対策のための樹木伐採等に関する意見交換会」でいただいたアドバイス

※人がクマ（体長1～1.5m）を識別できる距離が約５０m
※クマが不意に人と遭遇して、防御的に人を攻撃してしまう距離が約１５m
※クマの突進速度は約10～15m/s、遭遇して人が準備する時間的な余裕を考えると１５m必要

② 河川の樹木伐採に関する優先順位など

■各市町村の意見を踏まえ協議会にて検討願いたい。

・各地でヒグマが市街地に出没し、河川が移動経路となっているケースも見受けられるが、樹木伐採を行う場合の優先順位として、市街地を急ぐべきか、侵入経路を遮断する上で、山地と市街地の堺を急ぐべきか、又は他の考えがあるか

ゾーニング管理のイメージ図